

成果指標				
成果指標	カーシェアリングの台数			
指標設定の考え方	カーシェアリングを計画的に行うことが、公用車の削減等につながり、延いては、庁用自動車等の効率的かつ経済的な配車、整備及び管理を行うことができる。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標29年度
目標	7	9	11	15
実績	5	5	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本庁で使用している公用車約60台に対し、カーシェアリングが5台しかなく、効率的な稼働をしているとは言いがたい。そこで、半数以上の公用車をカーシェアリングするため、他市町の状況を参考にし、公用車管理規則等のルールを策定する必要がある。また、公用車運転中の事故を防止するため、交通安全法令講習の積極的な開催や、インフォメーション等を利用し職員に安全運転を啓発する必要がある。公用車の処分8台のうち、1台が売却処分ができる見込みとなった。今後も処分の際には売却処分が可能か確認する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	5	
		市の関与の妥当性	5	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	公用車の管理に関して、業務執行の上で適正と認められる車種や台数を検討し、全体の適正数に向けて管理していく必要がある。安全運転管理に関しては、公用車運転中の事故が多発したがほとんどが不注意によるものであった。職員ポータルサイトでのインフォメーションや部長会での注意喚起を繰り返したが、なお、安全運行に向けた効果的な意識啓発に取り組まなければならない。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題